

都市再生整備計画 事後評価シート  
思川駅周辺地区

平成23年3月

栃木県小山市

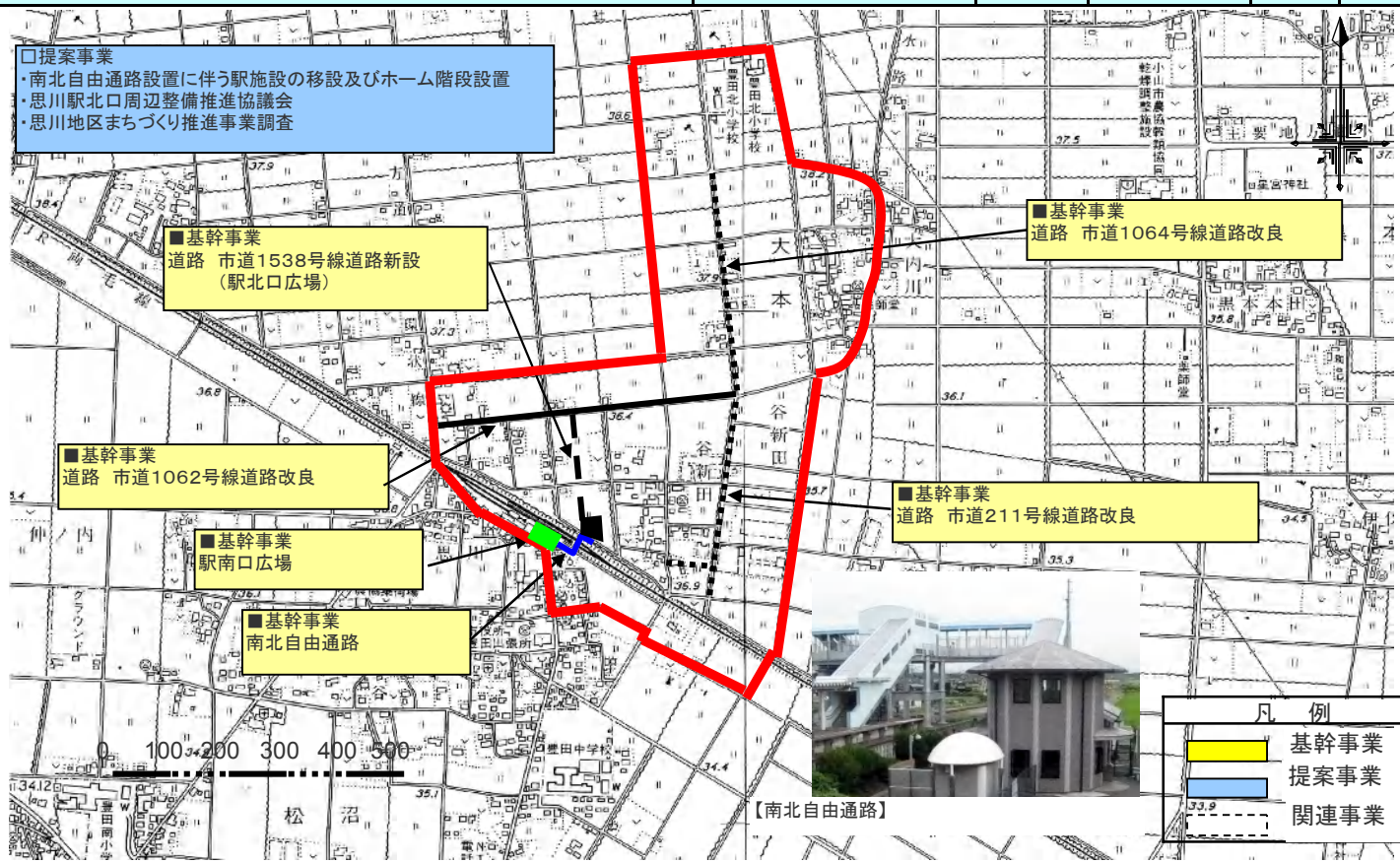
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	栃木県		市町村名	小山市		地区名	思川駅周辺地区			面積	51.0 ha	
交付期間	平成18年度～22年度		事後評価実施予定時期	平成22年度		交付対象事業費	935百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(市道1062号線道路改良)、高次都市施設(南北自由通路)									
		提案事業	地域創造支援事業(南北自由通路設置に伴う駅施設の移設及びホーム階段設置)、事業活用調査(思川地区まちづくり推進事業調査)、まちづくり活動推進事業(思川駅北口周辺整備推進協議会)									
	当初計画から削除した事業	事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		基幹事業	道路(アクセス道路)、地域生活基盤施設(駅北口広場)				駅北口広場を市道1538号線道路新設として事業を統合したため。			影響なし。		
		提案事業	まちづくり活動推進事業(道路の里親花いっぱい事業、駅周辺環境整備事業)				地域のまちづくりの熟度が高まっていないため。			思川駅利用者及び南北自由通路往来者の指標に関係するが、指標及び数値目標は据え置く。		
新たに追加した事業		基幹事業	道路(市道1538号線道路新設、市道1064号線道路改良、市道211号線道路改良)、地域生活基盤施設(駅南口広場)				駅周辺道路等の整備改善により交通アクセス条件、交通安全性、歩行者の快適性の向上を図るため。			思川駅利用者及び南北自由通路往来者の指標に関係するが、指標及び数値目標は据え置く。		
提案事業	なし											
交付期間の変更	当初変更	平成18年度～平成22年度	平成	年度～	年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	思川駅利用者数	人/日	677	H15	744	H22	1,086	○	あり なし	市道1538号線・駅北口広場の整備による新たな北口の開設と、南北自由通路、南口広場の整備等により、思川駅への交通アクセス及び駅利用の利便性が向上した。	平成23年10月
	指標2	南北自由通路往来者数	人/日	—	H17	120	H22	74	△	あり なし	南北自由通路、北口広場及び南口広場等の整備により、駅南北地域の連絡強化により、駅周辺の回遊性が向上し、マチとムラの共存にふさわしい駅前空間の形成が図られた。	平成23年10月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	思川駅への交通アクセスの利便性	%	7.9	H21	/	7.9	27.5	/	/	駅北口広場、駅南口広場及びアクセス道路の整備により、思川駅への交通アクセスに関する利便性が高まった。	平成23年10月
	その他の数値指標2	駅前広場の利便性	%	11.3	H21	/	11.3	21.1	/	/	駅北口広場及び駅南口広場の整備により、駅前広場に関する利便性が高まった。	平成23年10月
その他の数値指標3	道路の安全性	%	9.5	H21	/	9.5	25.9	/	/	市道改良整備による歩行者空間の確保により、道路の安全性が向上した。	平成23年10月	
4)定性的な効果発現状況	・市民参加型の会議運営などにより、思川駅周辺におけるまちづくりの気運が高まりつつある。											
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等
	モニタリング	アンケート調査によるモニタリング	都市再生整備計画に記載し、実施できた			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			満足度調査による事業効果の把握方法に一定の成果が得られたことから、今後の他事業等での活用を図る。
	住民参加プロセス	思川地区まちづくり推進事業調査	都市再生整備計画に記載し、実施できた			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			思川駅周辺地区整備構想を踏まえながら、その実現に向けて、市民との協働によるまちづくりを推進する。
	持続的なまちづくり体制の構築	思川駅北口周辺整備推進協議会	都市再生整備計画に記載し、実施できた			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			思川駅北口周辺整備推進協議会との意見交換及び調整を継続的に実施していく。

様式2-2 地区の概要

思川駅周辺地区(栃木県小山市)都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値			
目標1 駅周辺地域のマチとムラ共生型まちづくりの形成を図る。 目標2 駅周辺道路等の整備改善により交通アクセス条件、交通安全性、歩行者の快適性の向上を図る。 目標3 駅南北の連絡強化により駅周辺の回遊性を高め駅周辺の活性化を図る。	思川駅利用者数 単位:人/日	677	H15	744	H22	1,086	H22
	南北自由通路往來者数 単位:人/日	—	H17	120	H22	74	H22
	思川駅への交通アクセスの利便性 単位:%	7.9	H21	—	—	27.5	H22
	駅前広場の利便性 単位:%	11.3	H21	—	—	21.1	H22
	道路の安全性 単位:%	9.5	H21	—	—	25.9	H22



【市道1538号線(駅北口広場)】



【市道1062号線】



【駅南口広場(完成イメージ)】

**まちの課題の変化**

- 新たに北口が開設され、駅北側からのアクセスと駅利用が可能となり、南北自由通路の整備により駅南北の連絡強化と回遊性の向上が図られ、マチとムラ共生型まちづくりの形成が図られた。
- 駅北口広場及び駅南口広場等の整備により、駅の交通拠点性や利便性が高まった。
- 通学路における歩行空間の確保により、歩行者の安全性と快適性の向上を実現した。
- 地元まちづくり会議等の開催により、思川駅周辺地区に関する整備構想を策定し、まちづくりの実現に向けた方策等の検討を進展している。
- 駅周辺道路が一部区間未完成であるとともに、狭隘な道路も残存しており、道路交通ネットワークの形成と歩行空間の確保など交通安全性を図る必要がある。
- 駅南北のバランスのとれた地域の発展と駅周辺の活性化に資する土地利用の促進・誘導を図る必要がある。

**今後のまちづくりの方策(改善策を含む)**

- 思川駅の利便性向上と、駅前広場及び南北自由通路の利用促進を図る。
- 駅周辺道路等の基盤整備の推進に向けて、地権者など関係者等との協議・交渉、まちづくりに関する地域住民への情報提供や周知の徹底を図る。
- 駅南北のバランスのとれた地域の発展と駅周辺の活性化に資する土地利用の促進・誘導に向けて、思川駅周辺地区整備構想等に基づく、計画的な宅地開発の促進・誘導や地域の活性化に向けたまちづくりを推進するとともに、地区の生活環境の改善などを図る。
- 駅周辺における道路改良整備を進めるとともに、立て替えや開発時のセットバック等を誘導し、歩行空間の確保とネットワーク化を図る。